

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスみつほし		
○保護者評価実施期間	令和7年10月29日		～ 令和7年11月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和7年10月29日		～ 令和7年11月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの緊急時の対応や保護者の相談事に営業時間外や休日関係なく対応している	・前日に翌日利用についての連絡を入れることで連絡忘れを防ぐ ・緊急時に連絡が取れやすいように24時間対応できるようにしている	今は個別に連絡しているのを今後は保護者一斉に伝達で切れるよう検討
2	支援計画など細かく支援内容を伝達できている	一人ひとりの苦手や弱いところさらに伸ばせるよう何人かの意見を取り入れて作成している	保護者宛のペアレント通信の内容を保護者参加の実践勉強会を検討
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訓練スペース	地域的に送迎がまちまちのため遊びの空間と勉強課題の場所のスペースが共有となり集中させる環境作り	動線を作り事業所内の場所の配置換えをして、勉強課題に集中できるようにする
2	地域交流	児童クラブや地域児童との交流の説明不足	保護者会等で、なぜできないかを伝えていく
3	非常災害	避難訓練やマニュアル等による情報の伝え方	今年の親子行事で災害や救急時における、親子参加型の訓練が高評価だったことから親子参加型の行事を増やしていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスみつぼし

公表日 2026年 1月13日

利用児童数 19名(複数児童含む)

回収数 16/18名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	5	0	1	記載なし	スペース的には確保ができていますが、児童の成長により狭く感じる
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	8	0	0	記載なし	職員の人数は十分であるが、地域的に個別送迎が多いため難しいことも有る
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	2	0	1	記載なし	室内はバリアフリーではあるが、トイレや玄関には多少の段差がある 各部屋には何をやる部屋がわかるようにイラストで分かりやすくしている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	0	0	0	記載なし	活動の一環として児童が清掃したり、別の活動で行えない時は職員が行っている
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	2	0	0	記載なし	子どもの特性は十分に理解している 専門性の中でできる範囲ではできている ができない専門的なところもある
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	1	記載なし	支援プログラムに沿った支援を行っている
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	16	0	0	0	記載なし	支援計画は何度も皆をしを行っている
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	1	記載なし	ご家族からの意見や要望を色んな方向から検討し本児にとってより良い支援を心掛けている 支援には時間を要するため、時間の見極めは誤ることも有る
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1	0	0	記載なし	目標や課題について支援を行っている
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	0	2	記載なし	平日の活動は時間的に固定化してしまう が、休業日は新しい活動ができるよう職員間で考えている
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	7	2	4	記載なし	児童クラブとの交流は難しい旨を説明されている 地域の子どもたちとは外で遊ぶ程度です
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1	0	0	記載なし	契約時に説明は行っている
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0	記載なし	モニタリング時などに説明を行う
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	2	0	0	記載なし	事業所側からペアレント通信を配布し、保護者から内容の募集しているが、今のところは0件である
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1	0	0	記載なし	気になる点等があった場合については、連絡や送迎時に伝えている
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	0	0	記載なし	定期的には行っていないと思いますが、保護者からの相談事に関しては常に対応できる環境にはしている
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	1	記載なし	子どもの特性など職員間で共通して支援に当たるようにしている
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	3	1	0	記載なし	父母会は年3回、保護者会は年1回行っている。保護者会については運営内容変更の時などは急遽行う時がある。兄弟向けのイベントについては行っていないが、親子行事等で家族との触れ合いの機会は設けている	

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1	1	0	記載なし	子どもや家族からの相談の申し入れについての体制整備はしているいつでも対応できるように事業所携帯は24時対応できるようにしている
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1	0	0	記載なし	子どもや保護者により総支援をと考えてはいるが、事業所側では判断ができない
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	0	0	0	記載なし	みつぼし新聞では活動の内容やお誕生日会などの行事を掲載している。ペアレント通信はご家族の悩みについて支援方法など掲載している
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	1	記載なし	利用児童及び保護者の知り得た情報は職員間や関係機関とは共有することも有るが、他言しないよう努めている
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	0	3	記載なし	災害避難訓練などは児童含めて行うことはあるが、マニュアル等の説明は行っていない
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	2	0	3	記載なし	災害避難訓練を行った際には、新聞などの通信に記載しています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	0	2	記載なし	安全確保をしながら支援を行っているが、周知的な面でいえば行っていない
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	0	1	記載なし	事故等があった際には、速やかに連絡するよう努めている 怪我等も保護者には伝えている
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0	記載なし	子どもの安全第一に考え行動している
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1	0	1	記載なし	楽しく過ごされている児童もいるが、何のために自分が通所しているか分からない児童もいる
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	3	0	0	記載なし	事業所として支援には時間をかけ行っているため満足度は保護者の気持ちとなる

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービスみつぼし	公表日	2026年 1月 13日
------	----------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・少し狭いが活動やイベントの配置を考える ・勉強に集中できるスペースの配置	スペースが狭く感じるため配置を考える
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6			職員配置数は基準以上配置している 障害特性の理解を図る
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・室内はバリアフリーだが、段差がある箇所では手を添えるなどをしている ・空間の入口はどの場所かを明確にしている	子どもに合わせた動線と配置
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			生活空間は清潔にはしている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・クールダウン室や自分の居やすい場所に行ったりはしている ・共有スペースを独り占めはNGとしている ・ゆっくり過ごせる場所や玩具で遊べる場所を時間によって分けている	個別の部屋になるよう工夫する
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1		内容理解ができていない場合はわかりやすくするよう検討する
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・できる範囲に関しては業務改善につなげている	直ぐの対応ができるときはするが、検討しながら改善に努めている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3	・活動で夏休みには2コマ可能だったのが冬休みは困難と言われ伝える場が欲しかった ・要求に応じられていない場合もある	無理な事には対応できないが、できる範囲で意見をつなげていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・外部評価を行っていないが、関係機関の方はいつでも対応している	改善につなげるための検討はしている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・必要とする研修は、外部研修や法人主催の合同研修会を行っている	地域的に研修先が少なく法人内研修がメインとなっている
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			課題改善無
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			課題改善無
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・モニタリング時期など職員からの意見を聞いて支援計画を検討している	課題改善無
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・共有はされているが、計画に沿った支援はできていないところもある	計画に合った支援ができるよう検討する
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			もっとわかりやすく検討したい
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			課題改善無
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			意見をもっと言える環境を作る

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・学校・家庭でできないことを事業所で開催し児童の見聞を広める一助になれないか ・内容的に同じことも有るが、職場体験などを取り入れている	もっと活動範囲を広げるための支援に対する活動を検討
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・職員の勤務形態から、朝と午後にミーティングは常に行っている	打ち合わせに参加できない職員もいるため改善の余地あり
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・職員勤務形態により支援後は行わず翌日のミーティングの時に振り返りを行っている ・緊急を要する場合のみ伝えている	当日は遠方の送迎がある為、翌日に行っている改善は必要と考える
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			職員共通にする場合を改善する
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・年2回は最低行っている ・場合によっては短いスパンで行うことも有る	必要に応じて短期間で行うこともする
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			課題改善無
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			課題改善無
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童の将来もかかっているためサービス会議や関係機関は大事な連携の場所には児童を理解している職員が参加している	極力参加できるよう努めるが、長期休暇期間が多く参加できないことも有る
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・医療関係の方は入っていないがその他の関係従事者と連携の体制はできている	情報共有できる環境はできているため課題改善無
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・利用予定は各学校に配布している ・学校の行事予定はいただけない学校もある	情報共有できていないと事の連絡体制を構築する
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	・保育所や幼稚園・認定こども園との情報共有はないが、児童発達支援事業所とは共有できている	就学前の園との情報共有はないため、共有できる環境を整える
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・放デイから就労新事業との情報共有はないが、卒業に当たり放デイ時の支援内容を作成し保護者に渡している	直接の障害福祉事業所との連携ではなく放課後等デイサービスの支援状況を書類にまとめ提出のみサービス事業とつなげる活動をする
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・自立支援協議会主催のサービスの質を高めるための交流や事業をもとに研修会などを行っている	法人事業所2事業とセンター1事業で積極的に少なくエリア的な規模の研修会に参加できれば良いと考える
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	・地域の児童クラブから関係を持つことは難しいと言われている ・公園で地域の児童との交流や、地域のイベントなどに参加している	児童クラブとの交流に関しての内容は伝えて改善の余地がない、児童クラブからの丁寧なお断りがある為
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	・町主催の自立支援会議には代表で一人参加している	評価における内容理解を伝える
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・児童送迎時や父母会、気になる点等は保護者に伝えている	送迎時に伝えることがあるが何か別の方法を検討した方が良い	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・研修会は行っていないが、ペアレント通信を発行したり、保護者からの連絡において情報発信はしている	通信を出してわかりやすくしているが、内容が伝わっているかがわからない	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・利用時に伝えているが保護者にどれだけ伝わっているか不明	説明は行っているが、保護者理解につながっていない場合がある
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・年2回のモニタリング時に行っている	課題改善無
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			課題改善無

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			対面での時間が合わないなどの場合もあるが、直接的な支援とは言えないがメールなどでの支援助言は行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・父母会は年3回開催している</li> <li>・保護者会は年1回</li> </ul>	年一回の親子行事で家族参加の時にきょうだいも来ているが全員参加ではないため、来ない(来れない)とこの交流は持っていない	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6				苦情発生の場合には真摯に対応し適切な対応に心がけている
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、活動やお誕生日会などの事業所での様子の新聞を発行</li> <li>・行事なども利用予定表に記載している</li> </ul>	結果報告としての伝え方を改善しなくていけない	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6				日々心掛けています
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6				もっと工夫しないとイケない部分がある
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民を招待する大きな行事は行っていない</li> <li>・児童の特性において難しい部分がある為</li> </ul>	事業所行事に関しては地域住民を招待するほどの大きな行事は行っていないが、地域の行事には参加するよう努めている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			職員へのマニュアル周知はしているが、利用保護者への周知に努める	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練は行っているが、避難場所までの訓練までできていない</li> </ul>	避難場所の誘導研修を検討	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6				意志の服薬指示書をもらったり、使用方法の研修をしている
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6				アレルギー対象がある場合には指示書を提示するよう努めている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6				今のところ課題点がない
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族に周知できているかはわからない</li> <li>・訓練等は伝えてはいるが取り組み内容の周知ができていない</li> </ul>	安全計画を保護者会などで伝えていく	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットはその都度記入している</li> </ul>	再発防止に向け行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6				法人内研修や事例検討などを行っている
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				身体拘束は行っていないが行わなくてはならない時のために研修を常に行っている	